

【優勝までの足跡】



▽1回戦/8月20日(土) 名取市民 田中の右中間二塁打で先制。國廣が全出塁(3安打)でチェーシカける

Scoreboard for the first round match between 'Nagasaki Municipal' and 'Tanaka' on August 20th. It shows runs, hits, and errors for both teams, with Tanaka leading 4-2.

▽2回戦/8月21日(日) 名取市民

5回まで0-2と劣勢の中、6回4番長島が逆転満塁本塁打で突き放す

Scoreboard for the second round match between 'Nagasaki Municipal' and 'Tanaka' on August 21st. It shows runs, hits, and errors, with Tanaka leading 8-2.

▽準々決勝/8月22日(月) 仙台市民

相手ミスに乗じて、11安打11得点で今大会初コールド勝利を収める

Scoreboard for the quarter-final match between 'Sendai Municipal' and 'Tanaka' on August 22nd. It shows runs, hits, and errors, with Sendai winning 11-1.

▽準決勝/8月23日(火) 仙台市民

上野が先制スクイズ。6回に4連打、9回は原田がダマ押し3ラン

Scoreboard for the semi-final match between 'Ueno' and 'Sendai Municipal' on August 23rd. It shows runs, hits, and errors, with Sendai leading 6-0.

▽決勝/8月24日(水) 仙台市民

5回端岡の勝ち越し二塁打などで一挙4点。木下が7回14Kの快投

Scoreboard for the final match between 'Ueno' and 'Sendai Municipal' on August 24th. It shows runs, hits, and errors, with Sendai winning 8-2.

木下、渡辺一田中
二塁打=田中、端岡

◇上野大一主将(4年)の言葉◇

この1年間は苦しいことばかりで自分たちは主将に向けていないんじゃないかと思つた時もありましたが、今日の喜びで全員の苦勞や努力が全て報われました。池田監督の野球はバントにこだわつた1戦必勝の野球。徳を積むことの大切さを学ぶ野球です！後輩たちにはは運を果たしてほしいです。



【スタッフ】監督：池田浩二／選手：池田浩二、上野芝生、太田泰樹、富山拓生、北野平、真玉橋、池田浩二、上野芝生、太田泰樹、富山拓生、北野平、真玉橋、池田浩二、上野芝生、太田泰樹、富山拓生、北野平、真玉橋



名南大戦/田中の先制二塁打で端岡が生還、6回から好リレーを果たした渡辺



京産大戦/2点ビハイントの6回、長島が起死回生の左越え逆転満塁本塁打を放つ



京産大戦/逆転に備へたバクバク！長島が「感謝」の気持ちを込めて打つた通算2号HR



立命大戦/(左から)先制の木下は8回4安打6K、小瀬と完封リレーを果たす、6回ダマ押し3ランを放つた原田、序盤戦でスクイズを一つに束ねた元威印・小谷



「行進は日本一になろうぞ」。17年目の思いを抱き、ふたたび全国の舞台に帰ってきた33名の戦士

文部科学大臣杯 第68回全日本大学準硬式野球選手権大会

▽決勝戦・中央大学8-2九州産業大学(2016年8月24日/仙台市民球場)

中央大が2年ぶり12回目の優勝



5日です連戦の熱戦、2年ぶりの優勝。選手を信じぬいた池田浩二監督が宙に舞つた。「今大会のMVPは長島です」。部のルールを破り、大会直前5日間トレイブ掃除をしていた男の名をMVPに挙げた。長島はメンバ以外の危機から一転、今大会4番に抜擢され、2回戦で逆転満塁弾を打つ。「あの1打がなかったら今日の優勝はなかった」と上野は言った。長島は「チームに迷惑をかけた。みんなに思返しがしたかったことと安堵した。決勝戦は無安打だったから5回に勝ち越しのホームを踏んだ。全員の心が一つにならなければ果たせなかつた。優勝。中央大準硬式野球部が戦う姿には、学生野球の本質と諦めずやり抜くことの大切さが凝縮されていくように思う。「来年は運頼まず」と池田監督。王者の使命を持つ、もう次の戦いは始まっている!」

池田浩二監督の言葉/2年ぶりの優勝。この1年が本当に当たりだった。春は投手、夏は捕手として出場し、最後まで力を尽した。チーム全員が頑張った。来年は高松に来よう!」

第68回全日本大学準硬式野球選手権大会の決勝が24日、仙台市民球場で行われ、東都リーグ・中央大学が2年ぶり12回目の優勝を果たした。昨夏の選手権では日本大に6-19の惜敗。東都・春季リーグで3位に甘んじたが、8月の夏季合宿(秋田)で個々が課題を克服し、王者の誇りを奪い返した。



がんばろう東北! 復興・友情・野球の力 号外